

中学校 3年

標本調査を使って読了時間を予測しよう

大東市立深野中学校

教科

数学

単元名

標本調査

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・無作為に抽出したものを、具体的に処理をする。
- ・文章の数や読了時間を推定するしくみを理解し、標本調査の意義を考える。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・多くの書籍の中から、自分が興味を持ち薦めたい本を選び、文章を作成する。

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP3, G-STEP4

J-STEP4, K-STEP3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (全3時間)	<ul style="list-style-type: none">・全数調査と標本調査の違いやよさを理解する。・標本調査のときに、標本を「無作為に抽出する」方法を知る。・日常のさまざまな場面において、標本調査を利用しようとする。
第2次 (全2時間)	<ul style="list-style-type: none">○標本調査を利用して、総文章数や読了時間を推定する。・おすすめ本のポイントや本の表紙などを示し、1人1台タブレット端末でレポートを作成する。（☆）（本時）・互いのレポートを班で発表し合う。

本時のねらい

自分が関心のある本を紹介するために、標本調査の考え方をを使って、文章数や読了時間を推定する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	1. 前時までの振り返り・本時のめあて確認。 <ul style="list-style-type: none">・抽出方法や推定する方法など、標本調査の方法の確認をする。	<ul style="list-style-type: none">・おすすめの本を10分以内に決める。・おすすめポイントを書くので、読み切れるものを選ぶように指示する。 <ul style="list-style-type: none">・標本調査の考え方が不十分な生徒には、個別に確認を行う。
展開 (35分)	2. レポートを作成する。 <ul style="list-style-type: none">・標本調査を各自で行う。・推定文章数や推定読了時間を調べて、レポートに記入する。・本のおすすめポイントを文章にまとめていく。	<ul style="list-style-type: none">・本の総文章数や推定読了数を調べるために、必要な情報を確認する。 <ul style="list-style-type: none">・本のおすすめ文章を考える。
まとめ (5分)	3. 本時の振り返り。 <ul style="list-style-type: none">・レポートの進捗状況の確認を行う。・完成したレポートは、Teamsにて提出するように伝える。・次時にレポートの完成、班での発表を行うことを伝える。	<ul style="list-style-type: none">・本を読み終えていない生徒は、貸出手続きを行い、次の授業までに読むように伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・本にあまり興味を持っていなかった生徒が、学校図書館で本を手にとることができ、学校図書館活用の意義があったと感じられた。
- ・レポート作成に対して、それぞれが創意工夫している様子があり、アウトプット活動の有効性を感じられた。
- ・標本調査の考え方を実際に利用することで、そのよさを感じることができた。



学校図書館で本から情報収集している様子